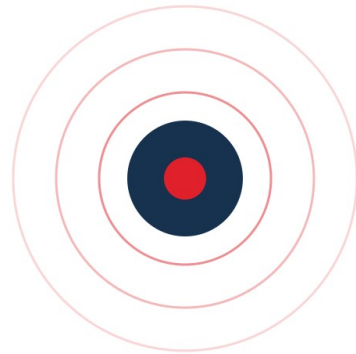


押すだけで、助けが届く。

ひとりで働く人が、ボタンひとつで
今の状況を事業所へ伝える仕組みです。



訪問介護事業所のみなさまへ | 安全確認・緊急通報サービス「マモロッサ」のご案内

訪問介護の現場で起きていること

日本介護福祉士会の調査では、利用者やご家族から被害を受けた経験のある方が、次のように報告されています。

精神的な攻撃を受けた	59.6%	大声を出された 72.0%／過剰なサービスの要求 53.8%
身体的な攻撃を受けた	52.5%	叩かれた 86.7%／つねられた・噛まれた 各 63.9%
性的な言動を受けた	34.2%	不必要な身体への接触 75.9%／性的な冗談 66.7%

精神的な攻撃については、利用者ご本人が 73.1%、ご家族が 63.4%と、ご家族からの被害も同じ水準で起きています。

さらに、身体的な攻撃を受けた方の 36.6%、性的な言動を受けた方の 45.3%が、誰にも相談していません。記録が残らなければ、事業所は実態をつかめず、対策も立てられません。

居宅という密室で、1対1。周りに人はおらず、その場で助けを呼ぶ手段ありません。スマートフォンを取り出して画面を操作し、電話をかけることは、相手の目の前では現実にはできません。

出典：公益社団法人日本介護福祉士会「介護現場におけるハラスメントの実態と対応策に関する調査」（2022年10月、有効回答158件）

2026年10月1日、カスハラ対策が義務になりました

改正労働施策総合推進法により、すべての事業主に、顧客等からの著しい迷惑行為に対する措置が義務づけられました。規模や業種を問わず、労働者が1人でもいれば対象です。パワーハラスメント防止措置と違い、中小企業への適用猶予はありません。

対策が義務になる一方で、訪問介護の現場で実際に使える製品は、ほとんどありません。

マモロッサとは

衣服やポケットにつけた小型のボタンを押すだけで、その状況を事業所へ伝える仕組みです。スマートフォンを取り出す必要はありません。

訪問の記録（打刻）、緊急通報、その場を離れる口実づくりまで、すべて同じボタンひとつで行います。

※ 本サービスは、通報と記録のための仕組みです。警備や駆けつけを行うものではありません。

覚える操作は3つだけ

操作	何が起きるか
1 回押す	訪問の開始・終了を記録します。時刻と位置が事業所に残り、直行直帰でも記録のために事務所へ戻る必要がありません。
2 回押す	着信を装う音と振動が鳴ります。「事業所から電話が」と言って、その場を離れる口実になります。
長押し	押し続けている間に、事業所へ通報し、その場の音声の記録を始めます。ポケットの中で握りしめるだけなので、相手に気づかれません。

通報を受けた事業所は、すぐ対応できます



- ・ 誰が、いつ、どこで押したかが、管理画面に赤く表示されます
- ・ Slack や LINE にも通知が届きます。通知を開けば、そのまま対応の画面に進めます
- ・ 管理者はパソコンでもスマートフォンでも、その場から通話できます。スタッフ側の操作は要りません
- ・ 通話している間も、音声の記録は途切れません

事務所に人がいない時間でも、通知を受けた管理者が外出先から対応できます。

働く人を監視しません

安全のための仕組みが、見張られている感覚を生んでは意味がありません。マモロッサは、必要な時に、必要な情報だけを扱います。

項目	取り扱い
位置情報	ボタンを押した瞬間だけ取得します。常時の追跡は行わず、そのための権限も取得していません。
録音	緊急通報の間だけです。訪問中ずっと録音することはありません。

記録の保存	音声は 30 日で削除します。それ以上必要な場合は、事業所側で取り出して保管していただきます。
-------	---

この設計は、職員の方に説明する際の材料にもなります。導入時の説明資料もご用意します。

朝の動作確認

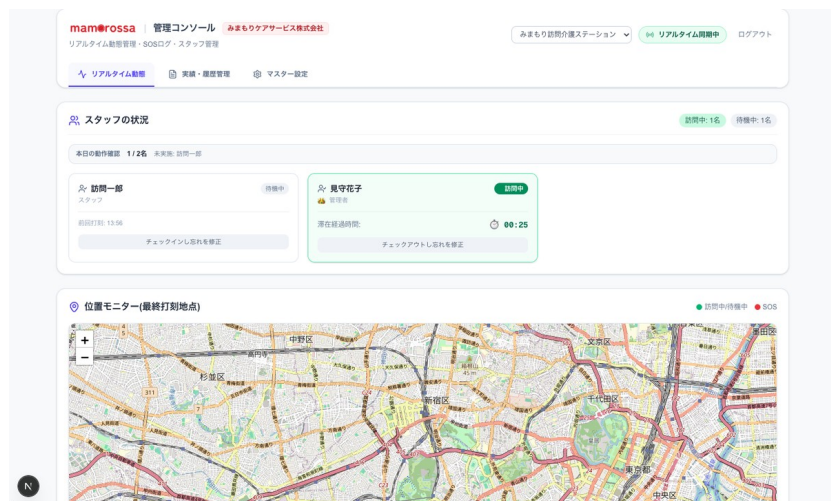
出勤時に、3つの操作を試せる画面があります。ボタンの電池と接続、位置情報、録音が、その日きちんと動くことを、訪問に出る前に確かめられます。

※ ボタンの電池は約3年もちます（1日に数回押す使い方の場合）。残量はアプリで確認できます。

画面のご紹介



スタッフのスマートフォン



事業所の管理画面（パソコン・スマートフォンのブラウザ）

ご利用に必要なもの

小型ボタン	スタッフ1人につき1個。衣服やポケットにつけて使います。
スマートフォン	Android 端末。事業所から支給する形をおすすめしています。
管理画面	パソコン・スマートフォンのブラウザ（iPhone でも利用できます）。

導入までの流れ



※ 通報を受けた時に誰がどう動くか、事業所内の手順の整備もお手伝いします。

まず 1 人から試したい事業所さまへ

クラウドの契約も管理画面も使わない単体版「マモロッサ・ライト」も準備しています。ボタンとスマートフォンだけで完結し、長押しすると登録した連絡先へ通知が届き、その場の音声を記録します。

人数が増えたら、事業所全体で使うマモロッサへ移れます。提供の方法は、決まりしだいお知らせします。

よくいただくご質問

電波が届かない場所で押したら	あらかじめ登録した緊急連絡先へ、SMS で通知します。電波が戻った時点で、押した時刻のまま事業所の記録にも残ります。
間違えて押してしまった場合は	もう一度押せば終了できます。事業所の画面では、対応を終えた時点で表示が消えます。
録音を利用者にどう説明すれば	説明のための資料をご用意します。緊急通報の時だけ記録が残ることを、あらかじめお伝えいただく運用をおすすめしています。
補助金は使えますか	自治体によっては、防犯や安全のための機器の導入に補助が出る場合があります。お住まいの地域で使える制度をご案内できます。

先行導入をご希望の事業所さまを募集しています

サービスの提供開始に向けて、最終の準備を進めています。開始に先立ち、実際の現場でお試しいただける事業所さまを募集しています。

ご関心のある方は、下記までご連絡ください。開始が決まりしだい、優先的にご案内を差し上げます。現場でお使いいただいたご意見は、今後の改良にも反映させていただきます。

費用は、スタッフの人数や台数によって変わります。お見積りをお出ししますので、お気軽にお問い合わせください。

株式会社ウェルノワ

メール: support@mamorossa.com

ウェブサイト: <https://mamorossa.com>

本紙の内容は、サービスの提供開始に向けて準備中のものです。仕様・提供時期は変更になる場合があります。